

平成 27 年度 第 6 回 産業医科大学倫理委員会議事抄録

- 1 日 時 平成 27 年 9 月 2 日 (水) 14 : 00 ~ 17 : 20
- 2 場 所 1609 会議室
- 3 出席者 学内 : 藤野、井上、中山、原田、興梠、阿南、庄司、廣、上野 (晋)、長野
学外 : 櫻井、安元、田中
欠席者 学内 : 佐伯

4 報告事項等

- (1) 平成 27 年度第 5 回産業医科大学倫理委員会議事抄録 (案) について
藤野委員長から、資料に基づき提案があり、審議の結果、原案どおり承認された。
- (2) 平成 27 年度第 5 回産業医科大学倫理委員会専門委員会 (8 月 21 日開催) について
藤野委員長から、審査結果について、資料に基づき次のとおり報告があった。
 - 1) 新規申請 1 件について、指摘事項を適切に修正の上、再提出されたものを倫理委員会委員長 (申請者が専門委員会委員長であるため) が修正内容を確認した時点で「承認」とする。
 - 2) 変更申請 1 件について、指摘事項を適切に修正の上、再提出されたものを専門委員会委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。
- (3) 平成 27 年度第 5 回迅速審査小委員会 (持ち回り) について
中山委員長から、審査結果について、資料に基づき次のとおり報告があった。
 - 1) 12 件のうち 11 件について審査の結果、委員の指摘事項等に対する申請者の対応及び修正内容について委員長が確認したので、承認することとした。その内容は資料のとおりである。
 - 2) 1 件については、審査の途中で委員から指摘があり、藤野委員長と協議の結果、迅速審査の対象としないこととなった。
- (4) その他
 - 1) 藤野委員長から、侵襲を伴う介入研究のモニタリング及び監査に関する倫理講習会を 9 月 29 日、30 日 (両日同一内容) に開催すること及び臨床介入の定義は範囲が広いので、臨床介入研究実施予定の有無に関わらず、研究を行う本学教職員のほとんどが対象となるとの説明があった。
 - 2) 藤野委員長から、厚生労働省倫理審査委員会認定制度への申請にあたり、委員の略歴に関する書類作成への協力依頼があった。

5 審議事項等

- (1) CITI 導入に伴う受講対象者の範囲について
藤野委員長から、研究を行う本学の常勤の教職員 (看護職、医療技術職等を含む) 及び大学院生を対象とすることとしたいとの提案があり、承認された。
- (2) 症例報告の審議について
藤野委員長から、次のとおり提案及び説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。
 - 1) 症例報告は、これまで本委員会の審査対象としていなかったが、他学の事例も踏まえ、今後は、本学においても国際学会での発表に限り、審査対象としたい。
 - 2) 今回の審査対象は、「症例報告 : Pericarditis and pleuritis with massive neutrophil infiltration as uncommon complications of hairy cell leukemia」、申請者は、産業医科大学病院 血液内科 診療教授 塚田順一 である。
本症例報告を国際学会で発表するにあたり、所属研究機関の倫理審査の承認を得ることを求

められている。既に患者が死亡しており、家族とも連絡がとれないが、診療の範囲内で行われたものなので、問題はないものとする。

さらに藤野委員長から、今後こうした症例報告が増えてくれば、症例報告に関する審査委員会の設置を検討する方向であるとの発言があった。

(3) 倫理審査研究計画書概要チェックリストについて

藤野委員長から、申請者が倫理審査申請を行うにあたり、研究概要を整理できるようにするため、また、審査業務の円滑化を図るため、「倫理審査研究計画書概要チェックリスト」を作成したので、今後は、倫理審査研究計画書とともに提出することを義務づけることとしたいとの提案があり、了承された。

6 研究倫理審査

(1) 新規申請

- ① 申請者： 産業生態科学研究所 人間工学 准教授 泉 博之
課題名： 転倒リスク評価を目的とした歩行における動的バランスの計測
審査要旨： 審査の結果、以下の指摘事項を適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

倫理審査研究計画書

5. 実施計画 5) 方法 a) 研究デザインと具体的方法

本文 5 行目の全身反応時間計測及び立位機能検査は認知機能に関連するものなのか、再検討する。

参加者の方への説明文書 5. 研究の方法の本文についても同様。

- ② 申請者： 産業保健学部 成人・老年看護学 教授 阿南 あゆみ
課題名： 交代制勤務女性看護師の精神的・身体的ストレス状況と労働ストレス要因
審査要旨： 審査の結果、以下の指摘事項を適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

倫理審査研究計画書

所属名称の後の「講座」、「研究室」は削除する。

5. 実施計画 5) 方法 a) 研究デザインと具体的方法

月経周期についての客観的調査として、エストラジオールを追加する。

8. 対象者に生じる負担、予測されるリスク及び利益

質問紙の調査項目が多いので、負担等について記述が必要である。説明文書も同様。

7. 実施事項等における倫理的配慮について 2) 本文 1 行目

誤植がある。本学個人情報管理者→本学個人識別情報管理者

参加者の方への説明文書

5. 研究の方法 3) 研究方法

本文上から 6 行目 質問紙への回答時間は約 30 分以内は 30 分程度

21. 研究対象者から取得された試料・情報について、研究対象者から同意を受ける時点では特定されない将来の研究のために用いられる可能性または他の研究機関に提供する可能性がある場合には、その旨と同意を受ける時点において想定される内容

新たな研究を開始するにはホームページに掲載すること、利用同意の撤回ができることを記述する。

質問紙

記名式であれば、連結可能匿名化され個人情報保護されることを関係箇所に記述する。

- ③ 申請者： 産業保健学部 産業・地域看護学 講師 高波 利恵
課題名： 職場の心理的環境改善のプロセスと関連要因
審査要旨： 審査の結果、以下の指摘事項を適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

倫理審査研究計画書

心理的環境改善を具体的に説明する。依頼状に添付する研究計画書及び対象者への説明文書も同様。

8. 対象者に生じる負担、予測されるリスク及び利益 2) 対象者の負担、予測されるリスクを最小化する対策

職場や他の従業員について語ることによって対象者が不利益を受けないよう、所属長に協力を依頼していることを対象者に説明することを記述する。インタビューガイドも同様。

別紙1 インタビューガイド

- ・現在の職場や利害関係者ではなく、過去の職場での出来事について語っていただくことを記述する。依頼状に添付する研究計画書及び対象者への説明文書も同様。
- ・インタビューに協力したことを口外しないことを依頼することを記述する。

別紙2 研究についての参加文書(安全衛生室長への説明文書に添付)

Ⅲ 研究の方法・工程 9.

逐語録確認の際は、削除、修正に応じることを記述する。研究計画書も同様。

別紙3 研究参加承諾書(事業場責任者用)

本学学長に対する承諾書として、安全衛生室長署名のものでは不適當である。安全衛生室長と研究実施責任者による研究契約の覚書きという形が良い。倫理審査研究計画書7. 実施事項等における倫理的配慮について 3) 対象者に理解を求め、同意を得る方法(インフォームド・コンセントの手順)も同様。

別紙4 研究についての説明文書(対象者への説明文書)

- ・安全衛生室長と研究実施責任者が研究契約の覚書を交わすことにより、研究対象者に不利益は与えることはないことを記述する。
- ・ペットボトルのことは記述する必要はない。

- ④ 申請者： 産業保健学部 安全衛生マネジメント学 教授 三宅 晋司
課題名： 異なる教示方法における精神課題遂行中の生体反応に関する研究
審査要旨： 審査の結果、以下の指摘事項を適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

実験参加者の方への説明文書

13. 試料・情報の保管及び廃棄の方法

生体情報は扱わないので、本文から削除する。

23. 知的財産権の発生について

同上

申請者の「研究の開始時期を倫理委員会開催月とする場合、理由書を提出しなければならない根拠を明確にしていきたい」という書面での意見について、藤野委員長から倫理委員会からの要望であり、明日から研究を開始しても問題はないと回答したいとの提案があり、了承された。

- ⑤ 申請者： 医学部 第2内科学 助教 林 篤志
課題名： 左室収縮機能の維持された心不全の治療薬探索に関する多施設共同研究登録・観察研究
審査要旨： 審査の結果、以下の指摘事項を適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

倫理審査研究計画書

4. 実施概要（研究の背景・目的・意義）
研究参加大学に札幌医科大学を追加する。
14. 研究費の資金源と利益相反について
研究費の資金源について記述する。

参加者の方（患者さん）への説明文書

2. 実施責任者
共同研究機関の厚生病院を厚生連尾西病院に修正する。

- ⑥ 申請者： 医学部 第3内科学 講師 田口 雅史
課題名： 自己免疫性膵炎の前向き追跡調査
審査要旨： 審査の結果、以下の指摘事項を適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

倫理審査研究計画書

5. 実施計画 5) 方法 b) 統計解析方法
臨床研究実施計画書を参照して記述する。

参加者の方（患者さん）への説明文書

4. 研究の背景・目的・意義
本文6行目 5年間で3年間に変更する。
5. 研究の方法
本文2行目 5年間で3年間に変更する。
調査項目の個人情報をデータセンターにFAXで送ることを明記する。
15. 研究対象者等及びその関係者からの相談等への対応
本文冒頭に相談には適切に対応することを記述する。

- ⑦ 申請者： 産業医科大学病院 消化管内科、肝胆膵内科 助教 本間 雄一
課題名： ジェノタイプ1型C型慢性肝疾患に対する直接作用型抗ウイルス薬による治療効果と、治療効果に影響を及ぼす因子の検討
審査要旨： 審査の結果、以下の指摘事項を適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

倫理審査研究計画書

5. 実施計画 5) 方法 a) 研究デザインと具体的方法 3) 投与終了後調査
SVR が得られない症例に対して HCV 薬剤耐性変異測定の使用負担（第 3 内科学研究費）
について記述する。
5. 実施計画 5) 方法 b) 統計解析方法
統計解析方法を具体的に記述する。
14. 研究費の資金源と利益相反について
利益相反について、丁寧に記述する。

参加者の方（患者さん）への説明文書

2. 実施責任者
実施責任者は 1 名とする。
5. 研究の方法
わかりやすく記述する。
15. 研究対象者及びその関係者からの相談等への対応
冒頭に相談等へは対応する旨を記述する。

- ⑧ 申請者： 医学部 精神医学 助教 香月 あすか
課題名： 顔画像による脈波推定及び生体状態検知技術の信頼性、妥当性の検証
審査要旨： 審査の結果、以下の指摘事項を適切に修正の上、再提出されたものを委員長が
修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

倫理審査研究計画書

3. 実施分担者
学内者と学外者は、区分する。
5. 実施計画 1) 対象者の選定方法（募集方法、選択基準・除外基準・中止基準等）
本文中の『健常勤労者』は『健常者』に変更する。

参加者の方への説明文書

5. 研究方法
信頼性検証のため再テスト法による評価を行うのであれば、1 回目の評価と 2 回目の
評価は同日連続して測定したほうがよいのではないか。実施分担者と検討していただ
きたい。
7. 研究対象者に生じる負担並びに予想されるリスク及び利益
本文 3 行目パナソニック社個人識別情報管理者については、職名及び氏名を記述する。

- ⑨ 申請者： 医学部 皮膚科学 助教 春山 護人
課題名： 夜間勤務が医療従事者の皮膚の角質水分量、水分蒸散量に及ぼす影響について
の検討
審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。
- ⑩ 申請者： 医学部 整形外科学 助教 平澤 英幸
課題名： 経口ビスホスホネート製剤骨密度低反応例に対するイバンドロン酸ナトリウ
ム水和物静注の有効性の検討
審査要旨： 審査の結果、以下の指摘事項を適切に修正の上、再提出されたものを委員長が
修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

参加者の方（患者さん）への説明文書

4. 研究の背景・目的・意義

内服薬を継続するか、注射に切り替えるかは、患者の意思だけではなく、担当医師と相談して決めることを記述する。注射の回数（月1回）を追加する。

⑪ 申請者： 医学部 放射線科学 講師 掛田 伸吾

課題名： パーキンソン症候群の診断における位相画像の有用性に関する検討

審査要旨： 審査の結果、以下の指摘事項を適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

参加者の方（患者さん）への説明文書

23. 知的財産権の発生について

本文2行目の『生体試料の提供者である』は削除する。

文末 放射線科学講座は放射線科学に変更する。

⑫ 申請者： 医学部 呼吸器内科学 講師 城戸 貴志

課題名： びまん性肺疾患に特異的な核酸・タンパクの探索

審査要旨： 審査の結果、以下の指摘事項を適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

倫理審査研究計画書

5. 実施計画 5) 方法

カルテ記録から収集するものから生年月日を削除する。参加者の方（患者さん）への説明文書 5. 研究方法 も同様。

7. 実施事項等における倫理的配慮について 6) 研究情報（結果を含む）の対象者への開示及び公表の方法

文章を整理する。

8. 対象者に生じる負担、予測されるリスク及び利益 2) 対象者の負担、予測されるリスクを最小化する対策

検体採取を行うので、文章を整理する。

9. 侵襲を伴う場合、重篤な有害事象が発生した場合の対応

「本研究の目的のためだけの検体採取を行うことはないので、」を削除する。

10. 侵襲を伴う場合、健康被害に対する補償の有無とその内容

同上

参加者の方（患者さん）への説明文書

7. 研究対象者に生じる負担並びに予想されるリスク及び利益

「本研究の目的のためだけに検体採取を行うことはないので、」及び「本研究の目的のためだけに検体採取は行われず、」を削除する。

20. 侵襲を伴う研究の場合には当該研究によって生じた健康被害に関する補償の有無及びその内容

「本研究の目的のためだけに検体採取は行われず、」を削除する。

⑬ 申請者： 医学部 救急医学 教授 真弓 俊彦

課題名： 重症敗血症の疫学的研究

審査要旨 : 審査の結果、以下の指摘事項を適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

情報公開のための文書

冒頭に、他の研究機関との共同研究であることの記述が必要である。

- ⑭ 申請者 : 医学部 救急医学 教授 真弓 俊彦
課題名 : 急性肺損傷 (ALI) / 急性呼吸促迫症候群 (ARDS) の疫学的研究
審査要旨 : 審査の結果、以下の指摘事項を適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

情報公開のための文書

冒頭に、他の研究機関との共同研究であることの記述が必要である。

倫理審査研究計画書

誤植がある。4. 実施概要 (研究の背景・目的・意義) 3) 意義 本文 1 行目
明らかになる子 t によって→明らかになることによって

- ⑮ 申請者 : 医学部 救急医学 教授 真弓 俊彦
課題名 : 重症外傷の疫学的研究
審査要旨 : 審査の結果、以下の指摘事項を適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

情報公開のための文書

冒頭に、他の研究機関との共同研究であることの記述が必要である。

- ⑯ 申請者 : 医学部 救急医学 教授 真弓 俊彦
課題名 : 日本救急医学会肺炎球菌・レンサ球菌・黄色ブドウ球菌による重症敗血症の多施設共同観察研究
審査要旨 : 審査の結果、以下の指摘事項を適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

情報公開のための文書

冒頭に、他の研究機関との共同研究であることの記述が必要である。

- ⑰ 申請者 : 産業医科大学病院 総合周産期母子医療センター 助産師 堀口 涼子
課題名 : MFICUに母体搬送された妊産褥婦の家族心理の調査
～インタビューとアンケート用紙での聞き取り式からの分析～
審査要旨 : 審査の結果、以下の指摘事項を適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

参加者の方 (患者さん) への説明文書

5. 研究の方法

アンケート記入に必要な時間、症例登録を行うこと及び登録内容を具体的に記述する。

- ⑱ 申請者： 産業医実務研修センター 講師 立石 清一郎
課題名： 人事・労務担当者によるがん等の患者の就業支援に関する調査
審査要旨： 審査の結果、以下の指摘事項を適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

倫理審査研究計画書

4. 実施概要（研究の背景・目的・意義）

人事労務担当者の役割、機能、復職手順などについて言及されている論文・書籍・文書などは乏しいという記述は説明不足であり、修正が必要である。

参加者の方への説明文書

5. 研究の方法

方法： にも、研修終了後も電話やメール等を用いて聴取が行われることを記述する。

12. 個人情報の取り扱い

本文1行目の『インタビューの結果は個別に分析せず一括で取り扱うため、個人が特定されることはありません』はわかりやすく修正する。

- ⑲ 申請者： 産業保健学部 安全衛生マネジメント学 助教 山田 晋平
課題名： ウェアラブルセンサーで計測した活動量を用いた蓄積疲労の評価方法の検討
審査要旨： 審査の結果、以下の指摘事項を適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

倫理審査研究計画書

4. 実施概要（研究の背景・目的・意義）

蓄積疲労とは何か。なぜそれを評価するのかの理由の説明が必要である。

15. 対象者への経済的負担又は謝礼の有無とその内容

謝礼について、最後まで参加した場合、途中でやめた場合など具体的な金額を記述する。参加者の方への説明文書も同様。

参加者の方への説明文書

ウェアラブルセンサーの取り扱いについて注意を促す記述が必要である。

誤植がある。

倫理審査研究計画書

5. 実施計画 5) 方法 a) 研究デザインと具体的方法

1.2 約10名→2、3名

2.2 2、3名→約10名

5. 実施計画 5) 方法 c) 評価項目（主要評価項目・副次評価項目等）

本文上から6行目 北九市内→北九州市内

(2) 継続審査

- ① 申請者： 医学部 第2内科学 学内講師 村岡 秀崇
課題名： エベロリムス溶出性ステント留置5年後の光干渉断層法所見
審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。

- ② 申請者： 医学部 神経内科学 教授 足立 弘明
課題名： 神経筋疾患の発症機序の分子病理学的解明

審査要旨 :審査の結果、以下の指摘事項を適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

患者さん、ご遺族への説明文書

12. 個人情報の取り扱い

本文下から4行目ただし以下の文章は、この研究の内容上、必要ないので、削除する。

(3) 新規申請（迅速審査）

- ① 申請者： 医学部 第1病理学 教授 久岡 正典
課題名： レアメタル（希土類元素）ランタンの生体内における分布様式とその臨床病理学的意義に関する研究
審査要旨 :審査の結果、「承認」とする。
- ② 申請者： 医学部 第1内科学 准教授 齋藤 和義
課題名： 高安静脈炎と巨細胞性動脈炎の治療の現状とその有効性と安全性に関する観察研究
審査要旨 :審査の結果、「承認」とする。
- ③ 申請者： 医学部 第2内科学 助教 林 篤志
課題名： 僧帽弁逸脱症における左房拡大様式：3次元心エコーによる検討
審査要旨 :審査の結果、「承認」とする。
- ④ 申請者： 医学部 精神医学 助教 阿竹 聖和
課題名： 抗精神病薬による体重変化や内分泌代謝系への影響に関する後方視的検討
審査要旨 :審査の結果、「承認」とする。
- ⑤ 申請者： 医学部 精神医学 助教 阿竹 聖和
課題名： NAMA(Nursing Assessment of Medication acceptance)の信頼性・妥当性の後方視的検討
審査要旨 :審査の結果、「承認」とする。
- ⑥ 申請者： 医学部 放射線科学 講師 掛田 伸吾
課題名： 認知症における頭部MRI画像解析の後方視的多施設共同研究
審査要旨 :審査の結果、「承認」とする。
- ⑦ 申請者： 産業保健学部 産業・地域看護学 教授 中田 光紀
課題名： 海外勤務者の職業性ストレスについての縦断研究
-海外青年協力隊・シニア海外ボランティアを対象に-
審査要旨 :審査の結果、「承認」とする。
- ⑧ 欠番
- ⑨ 申請者： 産業生態科学研究所 産業保健経営学 講師 梶木 繁之
課題名： 事業所無作為割付を利用した、メンタルヘルス不調により休職した労働者の職場復帰に対する生活記録表の効果の検証
審査要旨 :審査の結果、「承認」とする。

- ⑩ 申請者： 産業医実務研修センター 助教 永田 昌子
 課題名： メンタルヘルス不調者の職場復帰支援における職場環境の評価方法の検討
 審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。
- ⑪ 申請者： 産業医科大学病院 がんセンター 統括管理室長 黒木 一雅
 課題名： 胃がん・大腸がん・肺がん・乳がん・肝臓がん・前立腺がんフォローアップ
 パスに関する調査研究
 審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。
- ⑫ 申請者： 産業医科大学病院 看護部 助産師 荒田 友里
 課題名： 産婦人科病棟における授乳指導満足度調査
 ～退院時と産後1ヶ月健診時の調査結果から～
 審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。

(4) 変更申請（迅速審査）

- ① 申請者： 医学部 第1内科学 講師 岡田 洋右
 課題名： 糖尿病予防のための戦略研究 課題3～「2型糖尿病患者を対象とした血管合併症抑制のための強化療法と従来治療とのランダム化比較試験」～
 審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。
- ② 申請者： 医学部 第1内科学 講師 岡田 洋右
 課題名： 2型糖尿病患者に対するカナグリフロジンの血糖コントロール及びインスリン投与量への影響に関する検討
 The study of Effects of Canagliflozin ON T2DM patients' glycemic value Reduction and On Lowering dosage of insulin therapy (CONTROL study)
 審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。
- ③ 申請者： 産業医科大学病院 小児科 助教 樋口 尚子
 課題名： 小児固形腫瘍観察研究
 審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。ただし、誤植の修正が必要である。
- ④ 申請者： 産業医科大学病院 小児科 助教 樋口 尚子
 課題名： 小児 B 前駆細胞性急性リンパ性白血病に対する多施設共同第Ⅱ相および第Ⅲ相臨床試験 (ALL-B12)
 審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。
- ⑤ 申請者： 医学部 第1外科学 学内講師 皆川 紀剛
 課題名： 治癒切除不能進行・再発大腸癌に対する一次治療としてのカペシタビン/LV5FU2+ベバシズマブ療法後の XELOX/FOLFOX+ベバシズマブ逐次療法と XELOX/FOLFOX+ベバシズマブ併用療法の多施設共同ランダム化第Ⅲ相臨床試験
 審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。
- ⑥ 申請者： 医学部 第2外科学 助教 黒田 耕志
 課題名： 切除可能な悪性胸膜中皮腫に対してペメトレキセド・シスプラチンの化学療

法後に、胸膜切除/肺剥皮術を企図して完全切除を行う集学的治療の遂行可能
確認試験

審査要旨 :審査の結果、「承認」とする。

⑦ 申請者 : 医学部 第2病理学 講師 木村 聡

課題名 : CCL22 の発現と動脈硬化関連疾患の研究

審査要旨 :審査の結果、「承認」とする。

⑧ 申請者 : 産業生態科学研究所 産業保健管理学 教授 堀江 正知

課題名 : 熱中症症例対照研究

審査要旨 :審査の結果、「承認」とする。

⑨ 申請者 : 産業生態科学研究所 産業保健管理学 准教授 井上 仁郎

課題名 : 遮音効果を持つ通信機器イヤホンの性能評価に関する研究

審査要旨 :審査の結果、「承認」とする。

⑩ 申請者 : 産業保健学部 基礎看護学 助教 児玉 裕美

課題名 : 改良型血圧計を用いた血圧測定技術の習得に関する研究

審査要旨 :審査の結果、「承認」とする。

⑪ 申請者 : 医学部 第1内科学 講師 岡田 洋右

課題名 : 2型糖尿病患者におけるイプラグリフロジン、メトホルミンの糖代謝および多
面的作用、安全性に対する非劣性の検討

審査要旨 :審査の結果、「承認」とする。

7 その他

藤野委員長から、研究終了報告書3件について報告があり、了承された。